

発 言 通 告 書

発言者氏名	一柳 洋
発言の会議	平成26年11月27日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 小児医療費無料化と自治体間競争について

(1) 少子高齢化と定住人口の確保を背景に、小児医療費の無料化について自治体間で競争させられている現状には、自治体主権の気概が感じられない。少子化対策として、国が基準を設けて医療費を負担すべきと求めるべきではないかと考える。

ア 小児医療費無料化はナショナルミニマムの課題とすべきかどうか、市長の基本認識を伺いたい。

2 消費税に対する基本認識について

(1) 応益税である消費税は、基礎自治体の税とすることで市内の消費活動による収入の動向からその使い道までを納税者にわかりやすく提示することができ、行政サービスの対価という性格も理解されると考える。

ア 市長は、消費税は本来、基礎自治体の税とすべきという認識をお持ちか。

3 アメリカ合衆国の原子力艦に搭載されている原子炉の安全性の情報について

(1) 苫米地英人氏の著書「原発洗脳」には、軍艦用の原子炉と商業用の原子炉は比べ物にならないものと記載がある。また、軍艦用の原子炉はこれまでの運用の歴史と技術革新により、発電用原子炉とは格段に安全性や脆弱性のレベルが違う超高度な軍事機密であるため、日本に本当のことを教えることはないと思われる。

ア 市長は、原子力軍艦の原子炉や核燃料について、アメリカ合衆国側から本当のことを教えられて答弁しているのだろうかかと疑問を持ったことはあるか。

イ 空母母港化を受け入れさせられている市長として、苫米地氏の著書などを読んだことはあるか。

ウ 原子力軍艦の安全性を市長に説明するのは政府のどのセクションなのか。